

N値とは何？

ボーリング調査はボーリングマシンを使用して、鉄の管（ロッドやチューブ、サンプラーと呼ばれるもの）を地面に押し込みながら掘削を行います。

また、一般的なボーリングでは、標準貫入試験とよばれる試験を行います。標準貫入試験では、おもりを使って鉄の管（ロッドを介した標準貫入試験サンプラー）を打撃して、地盤に貫入させます。

N値とは、標準貫入試験で行う打撃によって、地盤に鉄の管（標準貫入試験サンプラー）が 30cm 貫入するのに必要な打撃回数のことです。

N値とはボーリング調査とあわせて行われる標準貫入試験の結果であり、地質の硬さをあらわす指標となります。

N値が大きければ硬い地質、小さければ軟らかい地質と判断します。また、粘性土地盤（粘土・シルト）と砂質土地盤（砂・礫）ではN値に対する表現が表のとおり異なります。

付表2.8 地盤諸定数(抜粋)

		標準N値	ポアソン比
粘性土地盤	軟らかい	0～4	0.45
	中位の	4～8	0.45
	堅い	8～15	0.40
	非常に堅い	15以上	0.35
砂質土地盤	緩い	0～10	0.40
	中位の	10～20	0.35
	やや密な	20～30	0.35
	密な	30～50	0.30
	非常に密な	50以上	0.30
岩盤	-	-	0.25

トンネル標準示方書(開削工法編)H8.P266